

【お知らせ】 本年8月、社労士資格者の渡邊健太が兵庫県から当事務所に着任しました。



「よみがえれ、新聞ジャーナリズム～国民の知る権利を守るために～」との演題で大分合同新聞元編集長・松尾和行氏の講演がありました。1900年前後の日清・日露戦争に始まり30～40年代の満州事変・国際連盟脱退・盧溝橋事件・日中戦争・真珠湾攻撃／太平洋戦争・「玉音放送」敗戦…の時代は新聞が売れた。なぜか？「イケイケ」の論説を展開し世論(時代の空気)を作り上げ大衆を引きずり過激に煽動

し軍部・権力に忖度する新聞を発行し続けた…新聞の統制を内務省と情報局が主導して37年に全国で1208社あった新聞社が42年には55社へ。大分県では豊州新報と大分新聞が統合し大分合同新聞に…戦後はGHQが新聞統制。ベトナム・湾岸・イラクの戦争でも9.11後のアフガン攻撃でも政権はメディアを規制し8年前成立の特定秘密保護法で国民の知る権利を圧迫する等隠蔽政治の横行に繋がった。現在の新聞社経営は戦前と相似…との話に目から鱗でした。

目から鱗の講演会 **隠蔽政治** 今も戦前と相似!



「これは百年安心年金の崩壊を意味するのですか」「それは…それぞれの方の視点によると思います」<厚労省年金局の幹部の声が響く…百年安心年金を過去にうたった自公政権下では、さすかの官僚も年金制度が破綻するとは言えない…7年前指摘「変節」太郎 年金崩壊 百年安心はお笑い」>とほそこで…場合によ

「百年安心年金の崩壊」と題する7年前の河野太郎公式サイト『ごまめの歯ざしり』Blogで今でもネットで見れます。健康保険組合の財源難に続き「厚労大臣が9/10に国民年金(基礎年金)の目減りで厚生年金との財政調整を検討…国の給付水準は26年後には現在より3割減る…」との記事(9/11付毎日4面)や後手後手のコロナ対策とあわせると現政権の言う「安心・安全」とは一体何なのか考えさせられます。



当事務所では毎週金曜日の朝9時～10時に、ミーティングを行ないます。ご協力をお願いします。

※当事務所から070で始まる電話をお掛けしますが、これは発信専用の電話番号です。
①070-5481-0659 ②070-5481-0988 ③070-5080-7611